

平成 25 年6月27日

公益社団法人 国際厚生事業団

照会先: (担当) 稲垣、笹沼

電話番号: 03-6206-1138

## 「効果的な学習支援事業の改善に向けた、第 25 回介護福祉士国家試験 EPA 介護福祉士候補者受験者アンケート」について

公益社団法人 国際厚生事業団 (JICWELS) では、このほど、「効果的な学習支援事業の改善に向けた、第 25 回介護福祉士国家試験 EPA 介護福祉士候補者受験者アンケート」の結果を取りまとめましたので公表します。

このアンケートは、経済連携協定 (EPA) に基づく介護福祉士候補者のうち、今年 1 月に行われた介護福祉士国家試験を受験した者を対象に、試験時間の延長や振り仮名付き問題冊子の使用など、国家試験への配慮措置の感想や日本語能力試験認定取得状況について、調査をしたものです。

調査対象は、第 25 回介護福祉士国家試験を受験した EPA 介護福祉士候補者 322 名で、そのうち 263 名から回答を得ました。

今回の調査結果では、日本語能力と国家試験合格に一定の相関がみられました。JICWELS は、入国年度別のカリキュラムを策定し、就労 1 年目は日本語力の習得、2 年目は国家試験対策の基礎学習、3 年目は国家試験合格を目指した受験学習といったように、就労開始から国家試験受験に至るまでの一貫した学習プログラムを作成・実施しています。今年度も、効果的な学習支援を行ってまいります。

### 【ポイント】

#### 国家試験の配慮措置について

- 試験時間が 1.5 倍に延長されたことについて聞いたところ、「普通」が 67.7% と最も多く、次いで「少し長い」が 22.4%。
- 全ての漢字に振り仮名がある問題冊子 (全ルビ) と通常の問題冊子の使用に関しては、「両方使った者」 (全ルビ中心、両方同じくらい、通常中心) が 44.9% と最も多く、次いで「全ルビのみ使用」が 33.5%。
- 設問の指示形式をすべて肯定表現にしたり、英語を併記する箇所を増やしたり、専門用語に通称を併記したりするなどの、わかりやすい日本語にするための工夫がされたことについて聞いたところ、「役に立った」・「少し役に立った」が 84.4% であり、「あまり役に立たなかった」・「全く役に立たなかった」は 11.4%。

#### 日本語能力試験認定取得について

- 第 25 回介護福祉士国家試験を受験した EPA 介護福祉士候補者の日本語能力試験認定取得状況をみると、「取得している」が 44.1%、「取得していない」が 51.0%。
- 日本語能力試験認定取得のレベル内訳をみると、「N3」が 63.8% と最も多く、次いで「N2」が 28.4%。
- 日本語能力試験 N3 以上を取得している者の介護福祉士国家試験合格率は、59.5%。

## ■アンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

第 25 回介護福祉士国家試験より EPA 介護福祉士候補者への配慮措置として、試験時間が 1.5 倍に延長され、全ての漢字に振り仮名を付けた問題冊子を一般受験者用の問題用紙にあわせて配布されました。

そこで、JICWELSでは、今後の学習支援事業の改善を目的とし、第 25 回介護福祉士国家試験を受験した EPA 介護福祉士候補者を対象に、国家試験への配慮措置の感想や日本語能力試験認定取得状況について把握するため、アンケートを実施しました。

### 2. 調査の期間

平成 25 年 1 月 28 日(月)～2 月 4 日(月)

### 3. 調査の対象

アンケート調査対象数は、第 25 回介護福祉士国家試験を受験した EPA 介護福祉士候補者 322 名(内訳:インドネシア 184 名、フィリピン 138 名)。そのうち、263 名(合格者 108 名、不合格者 155 名。インドネシア 157 名、フィリピン 106 名)より回答を得て、回答率は 81.7%でした(合格者 84.4%、不合格者 79.9%。インドネシア 85.3%、フィリピン 76.8%)。

### 4. 調査の方法

JICWELSが受入れ施設へ電子メールにて案内を配信し、メール及び FAX にて回答を受領しました。

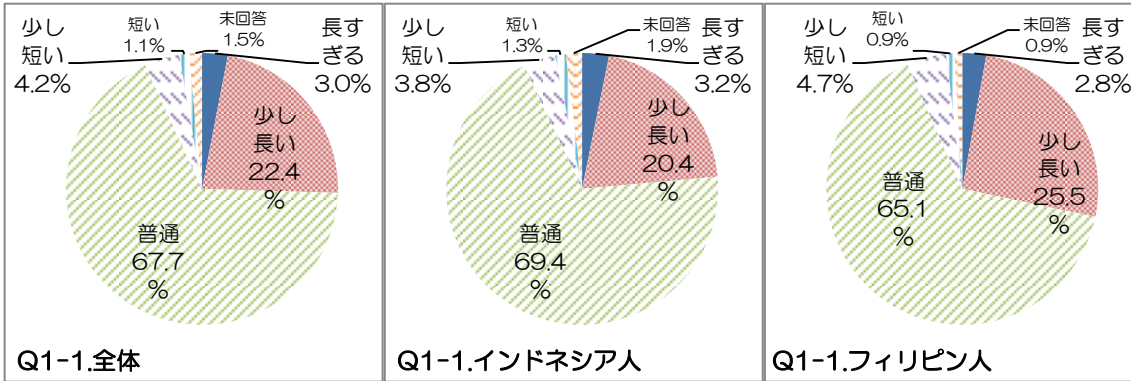
### 5. 調査の項目

- (1) 国家試験への配慮措置の感想
- (2) 日本語能力試験認定取得について

Q1. 配慮措置の感想

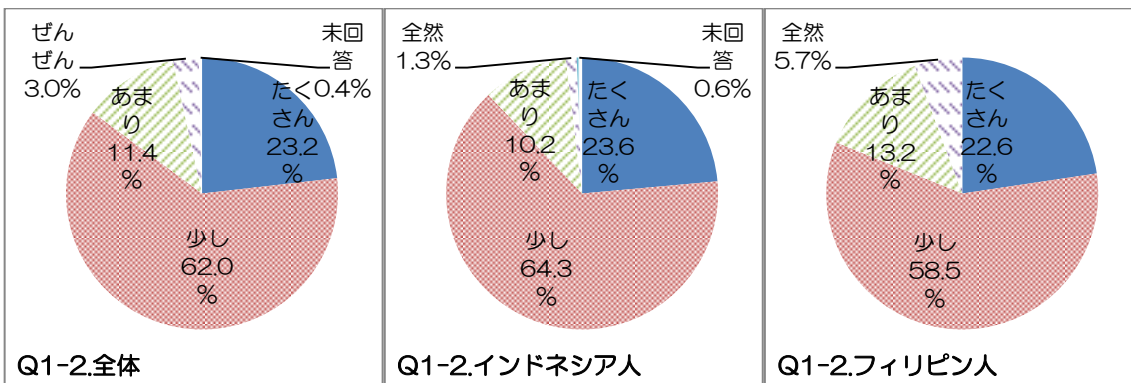
Q1-1. 試験時間が1.5倍に延長されましたが、試験時間の長さは、どうでしたか。

	長すぎる	少し長い	普通	少し短い	短い	未回答
全体	8	59	178	11	3	4
(インドネシア人)	5	32	109	6	2	3
(フィリピン人)	3	27	69	5	1	1



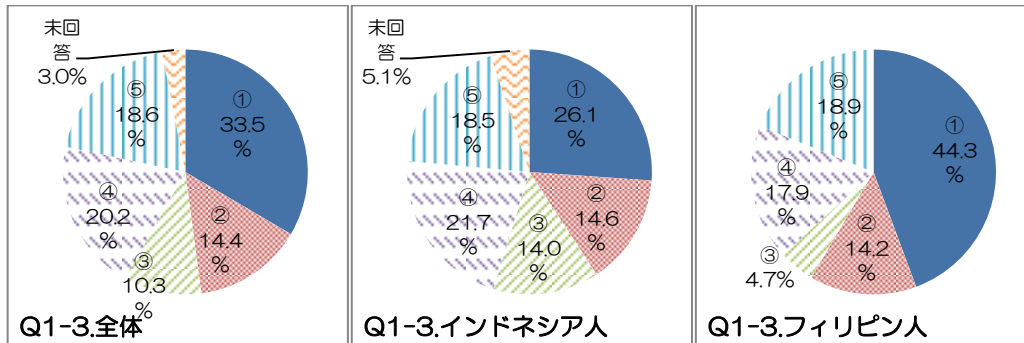
Q1-2. 問題を解き終わった後に、答えの見直しをする時間がありましたか。

	たくさんあった	少しあった	あまりなかった	ぜんぜんなかった	未回答
全体	61	163	30	8	1
(インドネシア人)	37	101	16	2	1
(フィリピン人)	24	62	14	6	0



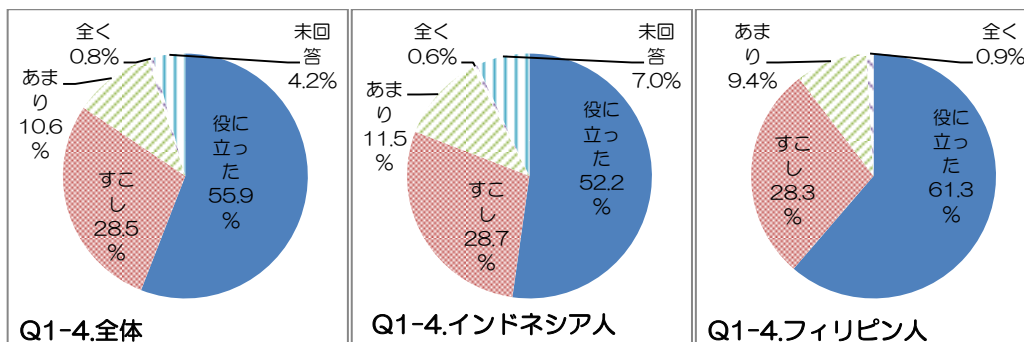
Q1-3. 試験では、全ての漢字に振り仮名がある問題冊子と、通常の問題冊子の2冊が配布されました。どちらを使いましたか。

	全ての漢字に振り仮名がある問題冊子だけ ①	両方使ったが、全ての漢字に振り仮名がある問題冊子が中心 ②	両方を同じくらい ③	両方使ったが、通常の問題冊子が中心 ④	通常の問題冊子だけ ⑤	未回答
全体	88	38	27	53	49	8
(インドネシア人)	41	23	22	34	29	8
(フィリピン人)	47	15	5	19	20	0



Q1-4. 今回の国家試験では、設問の指示形式をすべて肯定表現にしたり、英語を併記する箇所を増やしたり、専門用語に通称を併記したりするなど、なるべくわかりやすい日本語にするように工夫がされました。このような工夫は役に立ったと思いますか。

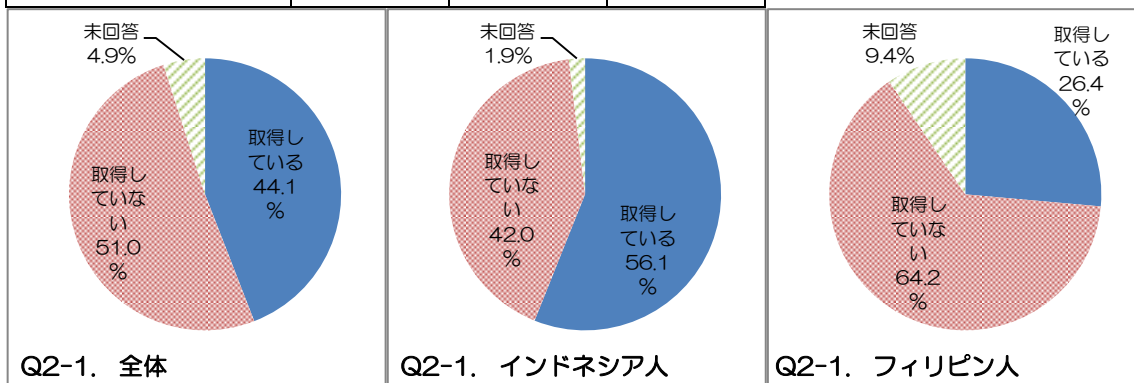
	役に立った	すこし役に立った	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった	未回答
全体	147	75	28	2	11
(インドネシア人)	82	45	18	1	11
(フィリピン人)	65	30	10	1	0



## Q2. 日本語能力試験認定取得について

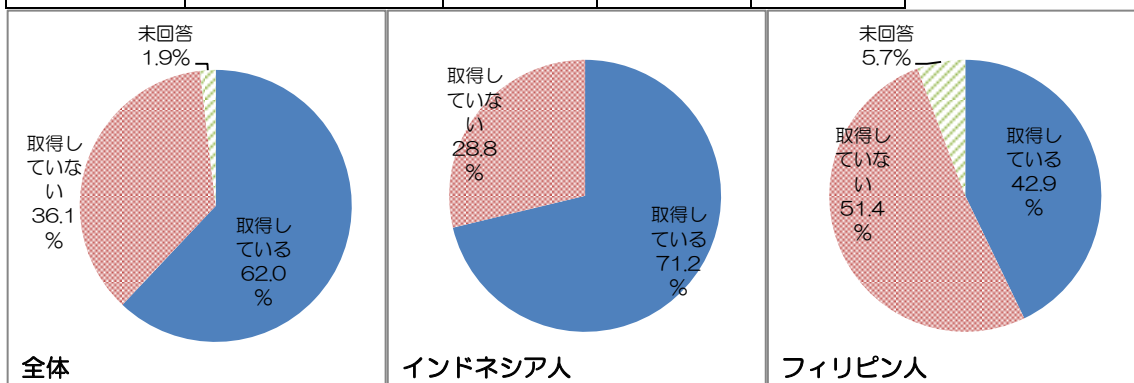
### Q2-1 日本語能力試験認定取得状況

	取得している	取得していない	未回答
全体	116	134	13
(インドネシア人)	88	66	3
(フィリピン人)	28	68	10



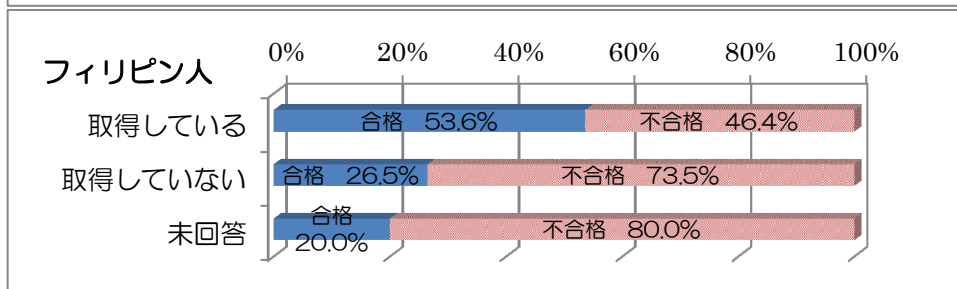
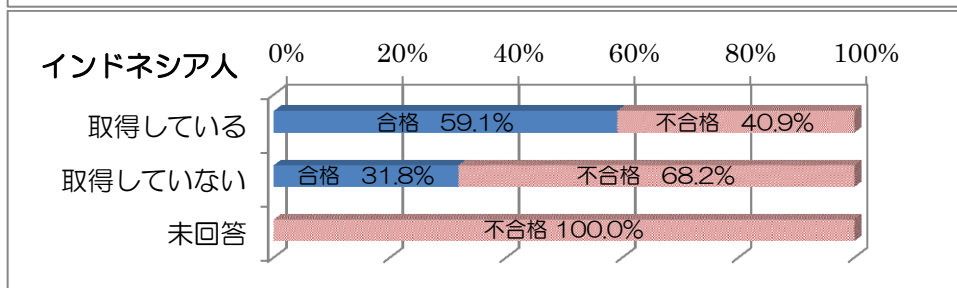
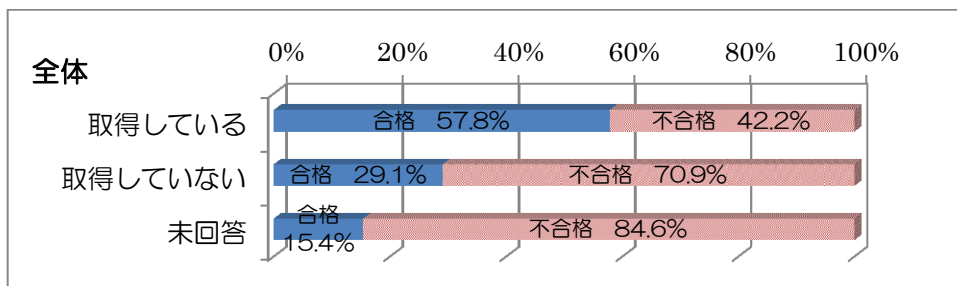
### 【第25回介護福祉士国家試験合格者の日本語能力試験認定取得状況】

	取得している	取得していない	未回答
合格者	67	39	2
(インドネシア人)	52	21	0
(フィリピン人)	15	18	2



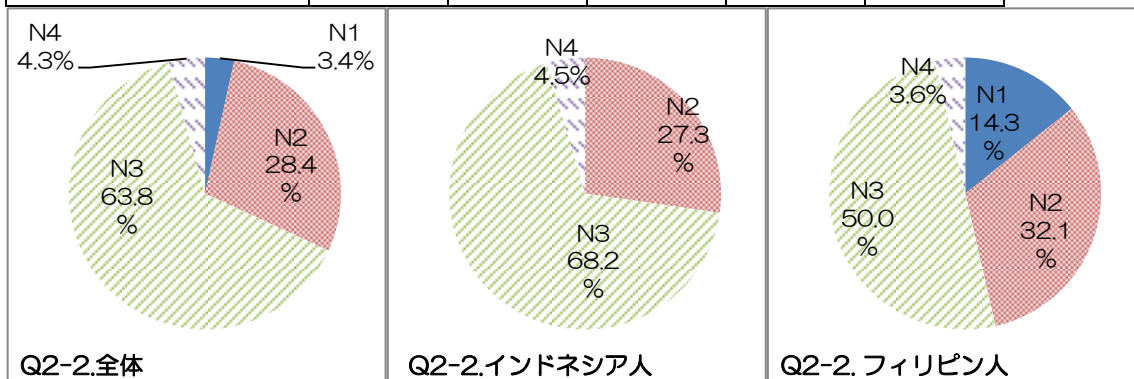
【日本語能力試験認定取得別の第25回介護福祉士国家試験合格率】

	取得している	取得していない	未回答
全体	57.8%	29.1%	15.4%
(インドネシア人)	59.1%	31.8%	0.0%
(フィリピン人)	53.6%	26.5%	20.0%



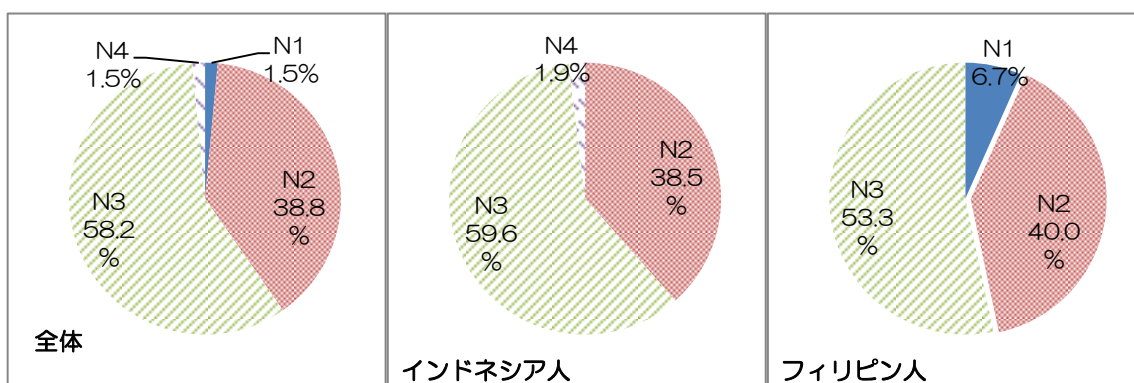
## Q2-2. 日本語能力試験認定取得のレベル内訳

	N1	N2	N3	N4	N5
全体	4	33	74	5	0
(インドネシア人)	0	24	60	4	0
(フィリピン人)	4	9	14	1	0



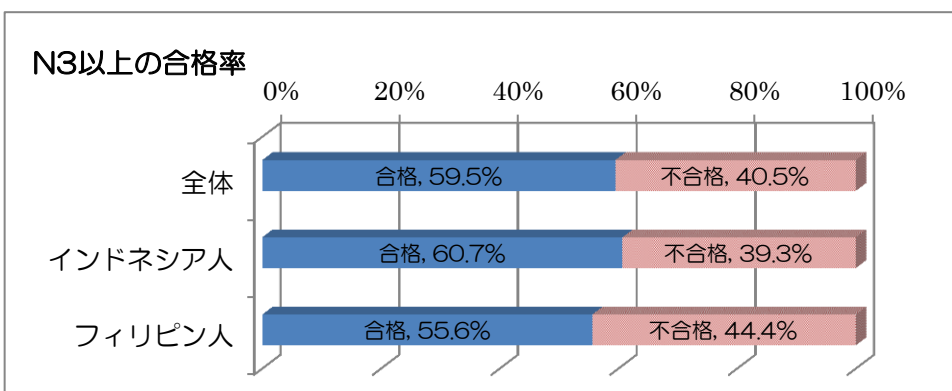
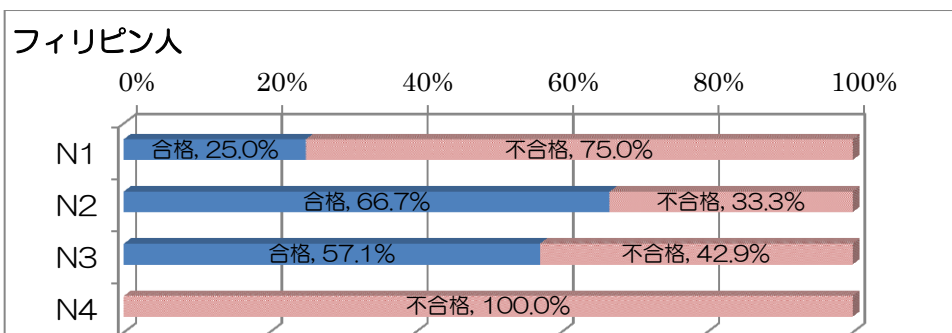
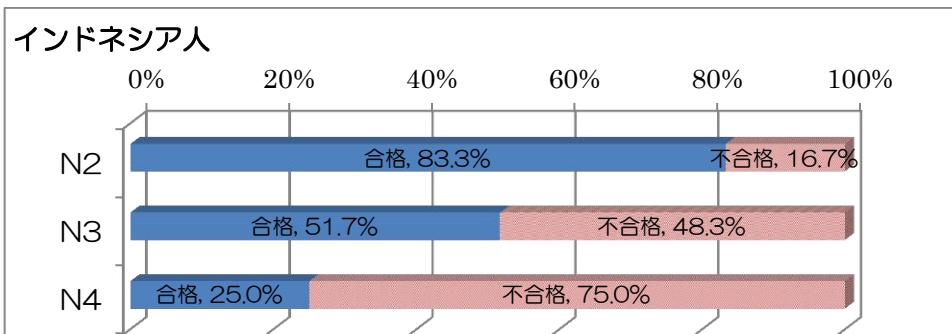
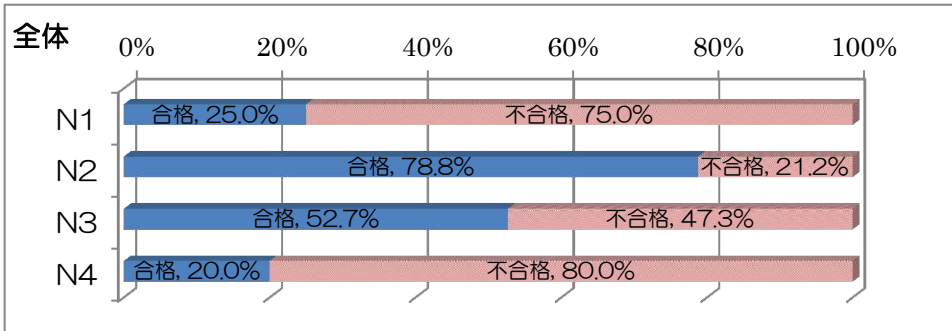
## 【第25回介護福祉士国家試験合格者の日本語能力試験認定取得レベル内訳】

		N1	N2	N3	N4	N5	N3以上
合格者	全体	1	26	39	1	—	66
	(インドネシア人)	—	20	31	1	—	51
	(フィリピン人)	1	6	8	0	—	15



【日本語能力試験認定取得レベル別の第25回介護福祉士国家試験合格率】

	N1	N2	N3	N4	N5	N3以上
全体	25.0%	78.8%	52.7%	20.0%	—	59.5%
(インドネシア人)	—	83.3%	51.7%	25.0%	—	60.7%
(フィリピン人)	25.0%	66.7%	57.1%	0.0%	—	55.6%





## 国際厚生事業団による学習支援策について

今回のアンケート結果によると、EPA介護福祉士候補者の日本語能力と国家試験合格には一定の相関がみられます。

当事業団による学習支援事業においては、入国年度別のカリキュラムを策定し、就労一年目は就労に必要な介護の日本語及び国家試験対策学習に対応できる日本語力の習得、二年目は国家試験対策の基礎学習、三年目は国家試験合格に必要な専門知識・技術・解答力の習得といったように、就労年数別の学習目標を立て、就労開始から国家試験受験に至るまでの一貫した学習プログラムを作成及び実施しています。尚、学習支援策では、日本語能力試験の受験は強く勧めるものではなく、あくまで国家試験合格を目指しています。

また、集合研修時に実施する模擬試験では、EPA介護福祉士候補者への配慮措置である、全ルビ付き問題冊子の配布及び試験時間延長を行っており、候補者が国家試験本番に近い形で模擬試験を受けられるようにしています。

当事業団による学習支援事業の概要は、別添の「参考資料」をご参照ください。

平成25年度も、平成24年度のこれらの経験を踏まえて、内容を更に改善・充実させて効果的な学習支援に努めてまいります。

## 平成24年度 EPA 介護福祉士候補者に対する (社)国際厚生事業団支援策について

### 1. 外国人介護福祉士候補者学習支援事業（※別添年間プログラム参照）

#### (1) 入国年度別学習目標を設定

- 入国年度別に学習目標を設定。入国年度別に「教材学習」、「集合研修」、「通信添削指導」を連動させ、受入れ施設での候補者の自己学習を支援。

#### <入国年度別学習目標>

入国年度	学習目標
平成21年度入国	合格に向けた国試対策（模試含む）
平成22年度入国	国家試験の全体像の把握 新カリキュラムの基礎知識の習得
平成23年度入国	介護に関する漢字と語彙の習得、読解・速読力の養成

#### (2) 学習教材の配布

- 外国人にわかりやすい日本語で書いたEPA介護福祉士候補者向けの国家試験対策教材を配布。
- 教材学習による理解を深めるため、教材、集合研修、通信添削指導を連動。

#### (3) 介護集合研修の実施

- 入国年度別に、年数回（入国年度で異なる）実施。
- 各入国年度とも、模擬試験や通信添削指導の成績に基づいたクラス分けをし、候補者各々のレベルにあった効果的な講義を提供。
- 介護専門講義では候補者の日本語の理解力を上げるため、「やさしい日本語」で講義を実施。
- 集合研修終了後の受入れ施設での円滑な学習を支援するため、配布した教案等を各施設にも提供。就労1年目は、研修責任者参加型の研修を実施。

#### (4) 模擬試験の実施

- 21年度入国候補者を中心に、年数回集合研修及び各施設において模擬試験を実施。
- 集合研修では、試験直後に弱点分野等を中心に解説講義を実施。
- 国家試験の時間延長及び全ルビ対応の問題冊子配布等、外国人介護福祉士

候補者への特例措置も取り入れ、より本番に近い形での模試を実施。

#### (5) 通信添削指導の実施

- 集合研修の講義内容及び配布教材と連動した通信添削試験を年数回実施。
- 通信添削指導による受入れ施設での効果的な学習を支援するため、採点結果の送付時に得点分布表や詳しい解説等を提供。

## 2. 「標準的な学習プログラム及び研修の手引き」等の開発・提供

受入れ機関(施設)における研修計画の作成や研修計画に基づく効果的な研修の実施、候補者の自己学習を支援することを目的に、専門家による検討会を設置し、以下の成果物を策定した。成果物は、各受入れ機関(施設)及び候補者等に配布した。

### (1) 標準的な学習プログラム及び研修の手引き

概要: 就労開始から国家試験受験までの一貫した標準的な学習プログラム及び候補者の学習方法や研修担当者の研修への関わり方等を具体的に取りまとめた手引き

### (2) 20年度入国インドネシア人介護福祉士候補者等 研修事例集(受入れ施設研修指導者向け、候補者向け)

概要: 第24回介護福祉士国家試験に合格した20年度入国インドネシア人介護福祉士候補者等の受入れ施設及び候補者本人の具体的な研修の取り組み事例をとりまとめた事例集



「標準的な学習プログラム及び研修の手引き」



「研修事例集 (受入れ施設研修指導者向け)」



「研修事例集 (EPA 介護福祉士候補者向け)」

### 3. その他、外国人介護福祉士候補者受入支援事業

- (1) 漢字統一試験等各種試験の実施(平成21年度から)
- (2) 巡回訪問での日本語学習指導(平成22年度から)
- (3) 就労開始後の日本語学習説明会(平成21年度から)
- (4) 介護福祉士国家試験過去問題の翻訳・提供(英語・インドネシア語)  
(平成21年度から)
- (5) 受入れ施設研修担当者会議の実施(介護福祉士国家試験合格者報告会)  
(平成22年度から)

以上。